

2, 3年生の皆さん、一つ学年が進級し、令和4年度がスタートします。今週はじめまで、北斗園や校内の桜の花が美しく咲き見ごろでしたが、桜の花が散った後も他の庭木も新しい芽を吹いて、清々しい季節となりました。

3月の終業式でお願いしたことを振り返りたいと思います。本校の校訓「文 武 心」の中でも「心」について、日常の学校生活で特別な行動をするのではなく、誰にでも明るく挨拶ができる人、誰も見ていないところで落ちているゴミを拾う人、些細なことに対しても「ありがとう」と感謝を伝えられる人など、皆さんが少し意識をすればできる、そんな大人になりましょう、そんな成長ができれば、皆さんの周りには素晴らしい仲間が現れて、あなたを助けたり、支えたりしてくれるはずですよ、という話をしました。

令和4年度も本校の校訓「文・武・心」の三道三立を実現し、北高創立122年目の新たな目標に向かって、皆さんとともに果敢に挑戦する年にしたいと思います。

まず、「文」について、3月に卒業した先輩たちは、3学期早々、コロナ禍の影響で大学入学共通テストの当日朝まで臨時休業のため、学校に登校できなかった中で大きな試験に臨みました。全国の平均点も大変厳しい結果ではありましたが、卒業生の強い意志と先生方の的確な御指導によって、2次試験では後期試験まで粘り強く取り組み、国公立大学合格者数が、平成8年度以来の250人越えという実績を挙げてくれて北高の存在感を示してくれました。

次に、「武」ですが、皆さんは称賛式に表彰される部活動や個人の上位成績で松山北高校の仲間たちの活躍に対して、称賛の拍手を送ってきました。今年度も運動部、文化部を問わず、様々な分野で県内レベルの各大会や行事で活躍するだけでなく、全国の舞台により多くの生徒が進出して松山北高校の名前を背負って躍動してくれることと期待しています。

大会等で活躍する選手以外にも、今年は、四国ブロックで全国高校総体、いわゆるインターハイが開催され、大会開催の広報活動、来県する選手や応援関係者をお接待し、大会を盛り上げる県内高校生のリーダーとして、本校では、3年生の仙波心さんをリーダーに、堀内 愛理さんをサブリーダーに16名が「学校推進委員」として活躍しています。来週12日には、日本一になったヤクルトのホームゲーム「坊っちゃんスタジアム」で行われるヤクルト VS 広島 戦においても試合開始前にスタジアム周辺で広報活動を展開することになっています。

三つめの「心」については、はじめに話したこと以外に、目標設定ができていない人について、日ごろの学校生活において、どの学校の生徒にも、年代が異なっても

共通の傾向があることをお伝えします。まず、目標に向かって前向きに努力ができる人、ひた向きに取り組む人は、いつも晴れ晴れとしたい表情で、明るく希望に満ちた話、自分で判断して考えた建設的な話ができます。その上で、仲間をけなしたり、不満や批判をすることもコソコソ話をするところありません。反対に努力をしない人、辛抱しないで逃げる人、意欲の低い人に多いのは、不平、不満、また、相手のミスを取り上げて批判したり、悪口を言ったりして、冷たく陰湿な面を持った人がいます。

皆さんには、先日の愛媛新聞1面にも掲載されていた、書道部が太山寺で平和への祈りを込めて揮毫した「和を以て貴しとなす」の理解を深め、仲間とともに共生や協働することを実践し、松山北高校生としての伝統と誇りを自覚した立ち居振る舞いによって称賛される行動で、本校122年目の歴史として、皆さん自身で輝かしい軌跡を描いてもらいたいと今年度の飛躍を期待して、式辞とします。